

月刊

GPP



Vol.41

平成31年3月号

株式会社  
グロースパートナーズ

## ——コミットメント出来ない日本社会——

いつもの如く、気が付けばもう3月。

梅の花の蜜を求めてメジロが飛び交っている。娘もそろそろ2年生だ。

米朝首脳会談が意外にも“まっとうな”対応をしたトランプの圧勝のように見える。

米中貿易問題にも解決の糸口が見えてきたようで、金融市場全体も上昇気流に乗りつつある。

この話と同じ土俵でお伝えすることではないが、**なんとこの3年間、毎日、休まずに一日3本のブログを書き続けた変態男**がいる <http://www.nr-mix.co.jp/topics/33.html>

長岡生コンクリートの宮本代表だ。

彼を知ってかれこれ10年になる。当時はヒョロヒョロのノッポで、おんぼろ車をヨタヨタ運転しながら都内の顧客回りをしていた。

確か初対面の時に「あっ、財布持ってくるのを忘れた！」とあって、知り合いにお金を借りに行くのを付き合ったりした。彼は一種独特な感性を持った人間である。策を練るタイプではなく、まずは動くことを最優先にしている。やっとな惑の年を迎えて、多少“大人”にはなったが、当然、攻撃的になる時があり、時として彼から離れていく人、彼を毛嫌いする人がいることを知っている。そして勿論、それと同時に彼に集まってくる人、彼のファンになる人がいることもまた知っている。

彼と私はちょうど一回り違う。私が彼の年のころには、マレーシアで“絶頂期”を迎えていた。幸いにも、マレーシアという多民族・多宗教国家で生活していたこと、シンガポールやベトナムと言った異なる国々を何度も行き来をしていたこともあり、常に「尊重」と言う言葉を反芻していた為、さほどの衝突はなかったと言っている（勿論、数多の局地戦は経験してきたが・・・）。一方、帰国して10年経つが、いまだに日本独特の難しさを感じる場面が多々あり、そんな環境のなかで尖り続けている宮本氏の存在は、頼もしくもあり、またうれしくもある。

今年の1月よりマレーシア人の知人が東京に駐在している。大手米国企業のマーケティング責任者だ。彼女は着任後数週間にしてこんなメッセージを送ってきた。「日本人には驚かされた。コミットメントはしない、責任感もない、そして何よりモチベーションが低い」と。

マレーシアではマハティール首相の第一次政権の際に「敗戦の焼け野原から一気に復興し、世界を代表する国になった日本をお手本にせよ」という“LOOK EAST政策”を指針として掲げていたがゆえに、日本という国や日本人に対して畏敬の念を持っている。それゆえその反動が大きいであろうことは想像に難しくない。彼女は「日本は落ちぶれた」と嘆いているのである。しかも数週間の滞在で、残念ながらあっさり見抜かれたのだ。

子供が小さいこともあり、未来の日本を想像してみる機会が多い。深刻な少子高齢化、人口減、中国やインド、東南アジアにアフリカの台頭。日本が世界におけるいまのポジション、即ち影響力を維持するのは至難の業だ。コミットメントが出来ない大企業に、未来の日本を託したくはない。むしろ、生命力を増強しながら力強く歩いている中小企業、ベンチャー企業がその一端を担うようであれば、まだまだ捨てたもんじゃないのかもしれない。そんなことを思いつつ、宮本氏のようにもう尖れないが、今より少し前に出てみようと思っている。

藤井 成厚

発行：株式会社グロースパートナーズ

# 試験施工実績紹介

## ■太陽光発電所の調整池案件

今回はある太陽光発電所から、お問合せを受けてセルドロン<sup>®</sup>の試験施工を実施いたしました。

太陽光発電所は、資源エネルギー庁が設定している「事業計画策定ガイドライン」を遵守して設置運営管理されております。山の谷間にあるような大型(1ha)の太陽光発電所では、雨水や土砂の流出を防ぐために、調整池を設置しております。今回は、調整池の堆積汚泥を場内で再利用しようと検討されており、セルロースが主成分の自然に優しいセルドロンを試すことになりました。



①水が流れた跡  
雨水が太陽光パネルの下を流れて調整池に集水します。



②調整池  
雨水に混ざった土粒子が調整池に堆積されています。深さ4mあったはず池底が見えてきております。



③堆積汚泥  
池底の堆積汚泥を救い上げてセルドロンの配合試験を行います。



④セルドロン混合  
おおよそ75kg/m<sup>3</sup>のセルドロンを添加しました。



⑤改質後  
セルドロン混合後の堆積汚泥はパラパラの状態になります。



⑥土のう利用  
今回は、猪に破られてしまったフェンスの穴を簡易的に塞ぐために土のう袋に入れて活用いたしました。

流動性の高かった堆積汚泥もセルドロンを混合するだけですぐに土のう袋につめられるようになります。土のう袋につめて利用するだけであれば、セルドロンの添加量は2~3割減らすことが出来ると思います。この太陽光発電所では、5月ごろに本施工を予定しております。

## お問合せ情報

### ①鉄道会社の現場で採用か？

地下鉄の工事の際は、先行モルタルの処理や、バルチップ入りの生コンクリートの処理に困っているようです。近いうちにセルドロンが採用されるかもしれません。

### ②流動化処理土の上を早く施工したい

空洞を埋めるために流し込んでいる流動化処理土。

固まるのに養生期間が長く、工期を短縮するためにセルドロンが使えるのではないかと問い合わせ。近いうちに試験施工が実施される予定です。

その他ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。